

診断で受ける放射線量

検査の種類	診断参考レベル*1	実際の被ばく線量*2	
		線量	線量の種類
一般撮影：胸部正面	0.3mGy	0.06mSv	実効線量
マンモグラフィ (平均乳腺線量)	2.4mGy	2 mGy程度	乳腺線量
透視	透視線量率 25mGy/分	手技により異なる	
歯科撮影	下顎 前歯部1.1mGy から 上顎 大臼歯部2.3mGy まで	2 -10 μ Sv程度	実効線量
X線CT検査	成人頭部単純ルーチン85mGy	5 -30mSv程度	実効線量
	小児（6~10歳）頭部60mGy		
核医学検査	放射性医薬品ごとの値	0.5-15mSv程度	実効線量
PET検査	放射性医薬品ごとの値	2 -20mSv程度	実効線量

* 1 : 医療被ばく研究情報ネットワーク他「最新の国内実態調査結果に基づく診断参考レベル」平成27年6月7日（平成27年8月11日一部修正）（<http://www.radher.jp/J-RIME/>）

* 2 : 放射線医学総合研究所「CT検査等医療被ばくの疑問に答える医療被ばくリスクとその防護についての考え方Q&A」（http://www.nirs.go.jp/rd/faq/medical.shtml#anchor_01）

上記資料* 1 及び* 2 に基づき作成